

WATER ABSORBING DRIED BRUSH FOR ANIMAL

Patent Number: JP4190725
Publication date: 1992-07-09
Inventor(s): YAMAMOTO YASUO
Applicant(s): UETSUTO MASUTAA KK
Requested Patent: ☐ JP4190725
Application Number: JP19900317710 19901126
Priority Number(s):
IPC Classification: A01K13/00
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To obtain the title brush suitable for hair condition used after shampoo of small animal such as small-sized dog or cat by setting brush tooth on side edge of an outer case fitting a water-absorbing element having saw-toothed exposed face.

CONSTITUTION: A number of brush teeth 10 are set on open side edge of an outer case 1 and an inner case is attached in the center by a screw 3 and constituted so as to relatively displace in the open direction of the outer case 1. An exposed face of a water-absorbing element 7 is saw-toothed and fit to an inner case 2 and tops of saw teeth is matched with brush teeth 10 to use the brush.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平4-190725

⑮ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)7月9日

A 01 K 13/00

E

8502-2B

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全5頁)

⑬ 発明の名称 動物用吸水乾燥ブラシ

⑯ 特 願 平2-317710

⑰ 出 願 平2(1990)11月26日

⑱ 発 明 者 山 本 保 夫 東京都新宿区下落合4丁目25番18号 ウェットマスター株式会社内

⑲ 出 願 人 ウェットマスター株式会社 東京都新宿区下落合4丁目25番18号

⑳ 代 理 人 弁理士 菊池 武胤

日 月 年 日 時 分

1. 発明の名称 動物用吸水乾燥ブラシ

2. 特許請求の範囲

(1) 片側が開放し、この開放側縁に多数のブラシ歯を植立した外ケースと、この外ケース内に着脱可能に嵌合させた吸水エレメントとからなり、該吸水エレメントの露出面をノコ歯形状に形成してあることを特徴とする動物用吸水乾燥ブラシ。

(2) 片側が開放し、この開放側縁に多数のブラシ歯を植立した外ケースと、この外ケース内に収められ、外ケースの開放方向に相対的に変位可能とした内ケースと、この内ケース内に嵌合させた吸水エレメントとからなり、この吸水エレメントの露出面をノコ歯形状に形成してあることを特徴とする動物用吸水乾燥ブラシ。

(3) 吸水エレメントのノコ歯形状の山部と、外ケースのブラシ歯とを位置合わせしてある上記請求項(1)又は(2)に記載の動物用吸水乾燥ブラシ。

(4) 上記吸水エレメントを複数の板状吸水エレ

メントを重ねて集合体として構成してある上記(1)、(2)又は(3)に記載の動物用吸水乾燥ブラシ。

(5) 上記内ケースを複数並列してある上記請求項(2)、(3)又は(4)に記載の動物用吸水乾燥ブラシ。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、生きた動物の調毛用に用いる吸水乾燥ブラシに関する。

(従来の技術)

小型犬、猫等生きた小動物を屋内で飼育していると、小動物特有の臭気を出すようになるから、一般的には定期的に洗っている。従前この小動物をシャンプーした後、吸水乾燥するためにはバスタオルを使用しているが、このバスタオルでの吸水乾燥では、毛の裏まで吸水乾燥することが困難であり、濡れたまま放置すると風邪を引いてしまう。従ってバスタオルでの吸水乾燥を終えた後にドライヤーによって熱風乾燥をしている。

(発明が解決しようとする課題)

小動物はドライヤーの音と熱風を極端に嫌がる傾向にあるという問題点があり、従って、ドライヤーを使わないで小動物のシャンプー後の吸水乾燥ができる簡単な道具の出現が望まれていた。

本発明は、この要望に応じて生きた動物の飼毛用に適する新規な吸水乾燥ブラシを提供することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

上記目的を達成するために、本発明の動物用吸水乾燥ブラシは、片側が開放し、この開放側縁に多数のブラシ歯を植立した外ケースと、この外ケース内に着脱可能に嵌合させた吸水エレメントとからなり、該吸水エレメントの露出面をノコ歯形状に形成してあることを特徴とする。

同様に本発明の動物用吸水乾燥ブラシは、片側が開放し、この開放側縁に多数のブラシ歯を植立した外ケースと、この外ケース内に収められ、外ケースの開放方向に相対的に変位可能とした内ケースと、この内ケース内に嵌合させた吸水エレ

メントとからなり、この吸水エレメントの露出面をノコ歯形状に形成してあることを特徴とする。

吸水エレメントを板状吸水エレメントの集合体にしたものでは、これをケースから外してばらばらにすると、吸水エレメントの乾燥を早く行うことができて好ましい。

(実施例)

以下図面に示した実施例により本発明の詳細を説明する。

図中1が片側に開放部を有する薄い箱形の外ケースで、合成樹脂材により型成形してある。この外ケースには、その開放側縁に多数のブラシ歯10を植立してある。2が内ケースで、同じく合成樹脂材により成形してあり、外ケース内に収められ、その奥部の中心位置に螺子3を突設し、外ケース1の底の中心部に設けた通孔4中に位置付け、外ケースの外側に設けた凸条に上記通孔と直交させて形成したスリット5中に調節ナット6を位

置付け、このナット6と螺子3とを螺合させ、ナット6の調節により内ケース2を外ケース1の開放方向に相対的に変位させることができるようにしてある。第1図に外ケースに対する内ケースの変位状況を示してある。即ち、第1図の左半分に内ケース2を外ケース1の一番奥まで引き込んだ状態を示してあり、右半分に外ケースに対して内ケース2を出した状態を示してある。

図中7が吸水エレメントで、内ケース2内に着脱自在に嵌合させて、上記ブラシ歯に臨む露出面をノコ歯形状に形成してあり、第1図に示す通りこのノコ歯形状の山部8とブラシ歯10との位置合わせがしてある。即ちノコ歯状の谷部9をブラシ歯10、10間に位置付けてある。吸水エレメント7は、複数の板状吸水エレメントを重ねて集合体として構成してある。

上記吸水エレメントを複数の板状吸水エレメントを重ねて集合体として構成してあることが好ましい。

(作用)

上記のように構成した本発明動物用吸水乾燥ブラシを用いて動物の飼毛作業を行えば、動物の毛が吸水エレメントの露出面のノコ歯状の谷部に接触し、吸水エレメントが毛に付着した水分を吸収して早く乾燥させる。

内ケースを外ケースに対して相対的に変位させる構成のものでは、内ケースを外ケースの最奥部にまで押し込めば、吸水エレメントのノコ歯状の露出面が引き込み、この吸水エレメントのノコ歯状露出面とブラシ歯との関係において、ブラシ歯が相対的により突出する状態となり、長毛用に適

する。反対に内ケースを外ケースから引き出してブラシ歯とノコ歯状の露出面の山部先端とを位置合わせさせると、ブラシ歯の露出部がなくなるから短毛用に適する。

図中7が吸水エレメントで、内ケース2内に着脱自在に嵌合させて、上記ブラシ歯に臨む露出面をノコ歯形状に形成してあり、第1図に示す通りこのノコ歯形状の山部8とブラシ歯10との位置合わせがしてある。即ちノコ歯状の谷部9をブラシ歯10、10間に位置付けてある。吸水エレメント7は、複数の板状吸水エレメントを重ねて集合体として構成してある。

第5図乃至第7図には、外ケース1を少し幅広のものとし、内ケースを2連とした実施例を示してある。この実施例では、外ケース1の内側に内ケース案内部材11、11を固設し、この案内部

材11、11間に内ケース2を変位可能に収めてある。この内ケース2は第6図及び第7図に示す通り2通に構成してあり、この内ケース2中に第1図乃至第3図に示した吸水エレメント7と同様の吸水エレメント7を嵌合させてある。

この2通の内ケース間には連結部12があり、その中心位置に調節螺子13の螺子頭14を収める窪みを形成してあり、該調節螺子13を外ケース1の底に埋設したナットに螺合させてある。そして螺子13の連結部の内側に位置する部分にストッパー16を設け、螺子13を捻じることによって内ケース2を外ケース1に対して相対的に変位し、吸水エレメント7を出入調節自在にしてあり、第7図の左半分に吸水エレメント7が出ている状態を、また右半分に吸水エレメント7が引き込んである状態を示してある。

第1図乃至第4図の実施例も第5図乃至第7図の実施例も共に、調節ナット6又は調節螺子13を捻じることによって、吸水エレメント7を出し入れしてその露出部のノコ歯形状をなす山部8と

ブラシ歯10とを略同じ高さにすると、ノコ歯状の谷部9の毛の捕集量が少ないから、短毛の小動物の調毛に適するし、山部8を引き込めてブラシ歯10を吸水エレメント7より突出させると、このブラシ歯10と上記谷部9とによる毛の捕集を多くすることができ、長毛の小動物の調毛に適する。

このように動物の毛の長さに合わせて吸水エレメント7の突出量を調節し、動物の毛を調毛すると、動物の毛に付着した寸分を吸水エレメント7が吸収する。また、吸水エレメント7を引き出すことによって、谷部9に詰まった毛を容易に取り除くこともできる。

さらに、内ケース2から吸水エレメント7を抜き出せば、吸水エレメントを容易に乾燥することができる。

(発明の効果)

叙上の如く、本発明動物用吸水乾燥ブラシを用いれば、調毛作業によって動物の毛に付着した水分を吸収乾燥することができ、動物が嫌がるドラ

イヤーを使わなくとも、シャンプー後の吸水乾燥をすることができる。また、吸水エレメントの突出量を調節することによって、毛の長さに応じた作業性のよいブラシとなし得る効果も有する。

4. 図面の簡単な説明

第1図乃至第4図に本発明の一つの実施例を示してあり、第1図がその一部切欠正面図で、左半分に吸水エレメントを引き込んだ状態を、また右半分に引き出した状態を示してある。第2図はその平面図、第3図は左半分を断面で示した側面図、第4図はその底面図である。次に第5図乃至第7図は別の実施例を示し、第5図はその正面図で、左半分に吸水エレメントを引き出した状態を示してあり、右半分に引き込んだ状態を示してある。第6図はその平面図、第7図はその断面図で、左半分に吸水エレメントを引き出した状態を、右半分に引き込んだ状態を示してある。

- | | |
|--------|-----------|
| 1—外ケース | 2—内ケース |
| 3—螺子 | 4—透孔 |
| 5—スリット | 7—吸水エレメント |

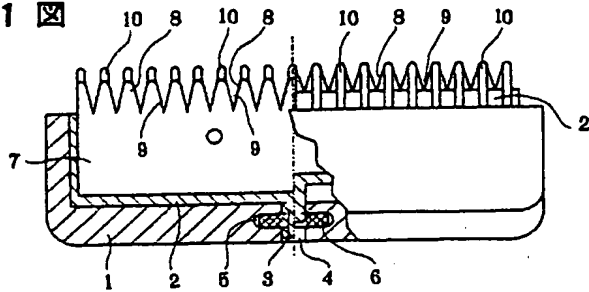
- | | |
|----------|---------|
| 8—山部 | 9—谷部 |
| 10—ブラシ歯 | 11—案内部材 |
| 12—連結部 | 13—調節螺子 |
| 14—螺子頭 | 15—ナット |
| 16—ストッパー | |

特許出願人 ウエットマスター株式会社

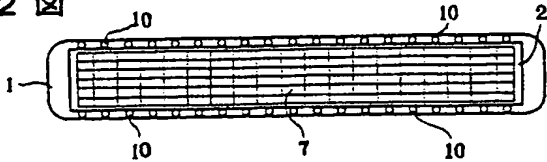
代理人 弁理士 菊池 武 胤



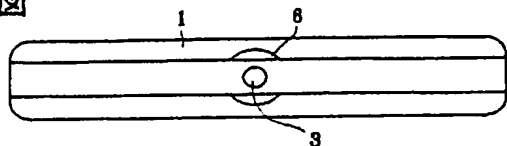
第1図



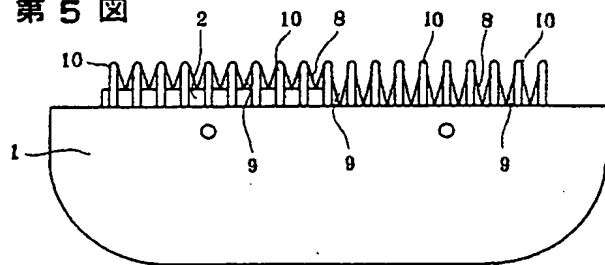
第2図



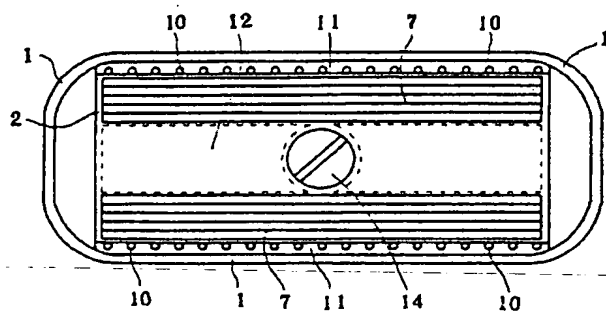
第4図



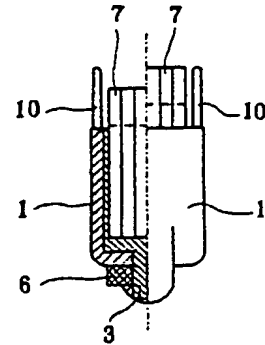
第5図



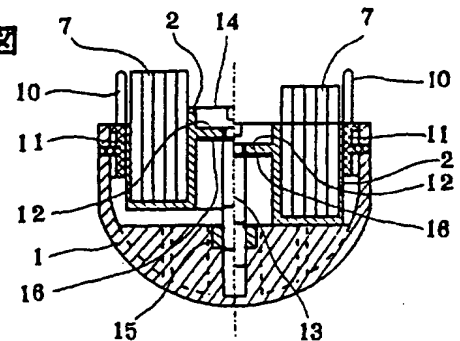
第6図



第3図



第7図



手続補正書 (目録)

平成3年1月11日

特許庁長官 植松 敏 殿

1. 事件の表示

平成2年特許願第317710号

2. 発明の名称

動物用吸水乾燥ブラシ

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

ウエットマスター株式会社

4. 代理人

〒101 東京都千代田区神田淡路町二丁目19番地

ロイヤルお茶の水 201号 電 3253-5693

(7518) 井理士 菊池 武 風

5. 補正の対象

明細 発明の詳細な説明の欄

3. 1.11

6. 補正の内容

別紙の通り

方式
署 印

補正の内容

(1) 明細書の第8頁第10行目に「付着した水分」とあるを「付着した水分」と補正する。

以上